

第6回西播磨新地域ビジョン検討委員会 会議録（要旨）

1 日時

令和3年12月24日（金） 13:30～14:15

2 場所

対面（西播磨総合庁舎 大会議室）及びオンライン

3 出席者

委員：谷口委員長、田端副委員長、井関委員、太田委員、長谷川委員、久保委員、門田委員、大西委員、家氏委員、玉木委員、西嶋委員、宮下委員、江見委員

県民局：渡瀬局長、久野室長、神尾、大西

4 内容

西播磨新地域ビジョン案について、資料1及び資料2により事務局から説明し意見交換を実施（主な発言内容は以下のとおり）

（委員）

ピクトグラムの色が同じように見えるが、色調は整理されているか。

（事務局）

コピー機の性能上、同じように見えるものがあるが、元データは濃淡の色調差はつけている。

（委員）

各取組目標の下に記載の黒字部分が取組目標の説明部分だと思うが、もう少し長くてもいいのかなと感じた。SDGsはピクトグラムが一人歩きしているが、そのあとの説明部分が重要視されると思うので、あえて申し上げた。気になったというだけで修正してくださいということではないので、全体を見てもらってご判断いただきたい。

（委員）

選定したピクトグラムについて、特に意見がないようであれば、了承いただいてよろしいでしょうか。

ビジョンの文案等々、写真掲載も含めて、あらためて全体を通して委員から意見を頂戴したいと思うがいかがか。

私から質問だが、取組目標毎にピクトグラムを作成した生徒の氏名を記載しているが、本人の了解は取れているか。

（事務局）

龍野北高校の了解を取った上で記載しております。

（委員）

50～51ページの暮らしのイメージについて、個人的に大事だと思っている。内容は将来像を踏まえた30年後の暮らしの一例ということだが、なんとなく未来感が感じられないというか、ドローンなどいろんな技術が発達してうまく活用しているという文章を書かれているが、ここがうまく書けるといいかなと思っている。こんな社会を実現したいというところが実感できて、そのためにどうしたらいいのか、このビジョンを読みみたいと思ってもらえるように、一番最初の見開き部分に入れ込んでみるのもいいと思った。

（委員）

私もその方がいいような気がするが、他の委員はどうか。

(委員)

私も賛成である。併せて関連することだが、タイトルが地域ビジョンになっているが、全県ビジョンは2050となっている。2050を入れるか入れないか。入れるとすると、委員がおっしゃった2050年がこうですよというのが入ってくると分かりやすい。タイトルが2050で、開くと2050年こうですよ、そのためにこうしますよというストーリーになると、委員がおっしゃったことがクローズアップされるかなと思った。

(委員)

2050について全県の統一見解はあるか。

(事務局)

名称はある程度自由にできる。ご指摘を踏まえてタイトルに2050を入れ、一番最初に50～51ページを掲載する方向で整理させていただく。4つの暮らしのイメージは、それぞれに関連する他の将来像もあるが、内容の中心は4つの将来像を意識し、できる限り取組目標を入れ込む形で記載した。

(委員)

意図をもって記載していることは良く理解できる。それだけに流れを変えるだけでストーリーが出てくると思う。

特に異議がなければ、暮らしのイメージは最初に持っていくことでよいか。

(委員)

基本的に50～51ページは委員のおっしゃったとおりだと思う。修正しなくていいので、コメントとして聞いて下さい。姫路でも経験済みだが、シナリオの書き方は非常に難しい。今回は2050年なので悲観論で申し訳ないが、状況はもっと悪くなっており、こんな悠長な状況ではないと思っている。こうあってほしいというのは理解できるが、これを最初に持ってきて、最初に読んでいただきたいのであれば、このトーンが本当に現実的なのか考えてもらいたい。ここが一番のつかみになると思う。それ以外の部分は、はっきり言って文章価値はない。

もし修正していただけるのであれば、ジェンダーの話。私の見立てだとやたら男性的な話になっている。あえて性別を示すことの必要性が感じられなかった。あまり細かな家族設定はせず、女性のイラストを入れればいいだけだと思う。私のような偏屈者が読むと疑問に思う者もいると思う。

(委員)

2050年の西播磨の暮らしのイメージになっているので、夫婦共働きで子育て中やUターン予定で留めおいてもいいかもしれない。長年二人暮らしをしている高齢者としても特段おかしくはない。

前段の本当に実現しているのかという指摘は、将来ビジョンはこうあってほしいというところを描くものなので、非現実的な内容かもしれないが、ストーリー構成としてはこの形にさせてもらいたい。

(委員)

1970年代に兵庫県の総合計画を作るときに、ローマクラブが行ったシステムダイナミクスを使って50年後を予測していたが、その予測では2020年の兵庫県は人が住めない環境が描かれていた。しかし現実はそうではなかった。

委員がおっしゃった実際どうなのという懸念だが、30年後や50年後の予測は難しいところがあるが、こうありたいというところを見せることで、皆さんが希望を持てるような内容をしっかり出していきたいと思っている。未来予測

は難しいが、4つの将来像を示して見せていくのは重要だと思う。

(委員)

全県ビジョンと比べたときに違和感を感じた点だが、地域ビジョンの16ページに基本姿勢があるが、全県では23ページに地域のめざす姿として記載がある。また第3部の1に基本姿勢が掲載されているが、より具体的な行動のような形で基本姿勢が書かれている。基本姿勢という言葉の位置づけをどう捉えるかだが、それぞれは独立したものなのでこのままでもいいかと思ったが、少し気になったのでコメントさせていただいた。

(事務局)

ご指摘の部分について、基本姿勢をめざす姿としても違和感はないかと思ったが、どういった表現がいいかは先ほどの意見も踏まえて調整させていただきたい。

(委員)

他にご意見がなければ、会議はいったんここで締めさせていただき、何かあれば個別に事務局まで意見を寄せていただくということによろしいか。

(委員)

タイトルも含め非常にカラフルなものが出来上がったなというのが最初の印象で、視覚情報は非常に重要だと思っている。もともとビジョンは20年前に夢を語り合う夢会議から始まった経緯がある。何か光が見えてくるようなビジョン、来年度は地域ビジョンのあり方が変わってきますが、その集大成としてカラフルなのはよかったと思っている。取りまとめにあたっては事務局のご尽力、また委員長の人柄もあって皆さんのご意見を盛り上げながらまとまったと思っている。コロナの状況下でこれだけのものが出来上がったのは皆さんのご尽力のおかげであり、お礼申し上げます。